

BASIC 02

自分の星が持つ意味 本命星の世界

BASIC 01で自分の星を出したら、次はその星が何を意味するのかを知ります。九つの星にはそれぞれ役割があり、強みと、運勢を落としやすい癖があります。

STEP 1

九星の本質を知る

九つの星の役割と強みを見る

STEP 2

運勢を落とす癖を知る

不調な時に出やすい行動を知る

STEP 3

本命と月命を使い分ける

表の使命と内側の素顔を見る

このPDFの目的

星を良い悪いで判断するためではありません。自分の星の傾向を知り、長所を活かし、落とし穴を避けるための地図として使ってください。

1 九星それぞれの本質

この表は、性格を決めつけるためのものではありません。九星を「命の傾向と手当て」として見るための地図です。自分の星を知るほど、強みの出し方と、力を落としやすい場面が見えてきます。

星	本質	運勢を落とす行動
一白水星	信念が強く人間関係の天才。ただし決断が遅い	切り替えができないと停滞する
二黒土星	深い母性と忍耐力。決意が固まると誰より強い	優柔不断のまま動かないと力を失う
三碧木星	元気・積極性・言葉の力	嘘・遅刻が多いと急速に運勢が落ちる
四緑木星	爽やかさ・調和・縁をつなぐ力	気難しく閉じると縁が切れていく
五黄土星	王の星。愛が深く影響力が大きい	思いやりを失うと凶の力が出る
六白金星	剣のような鋭さと行動力、健康な体	折れると一気に弱くなる
七赤金星	人を喜ばせる才能。料理・会話・もてなし	批判・愚痴が多いと魅力が失われる
八白土星	変化・転換・相続の星。高い視点	上から目線が続くと人が離れる
九紫火星	智慧と情熱の星。見えないものを見る力	本音を言わず溜め込むと焦燥する

決めつけではなく、手当てとして見る

運勢を落とす行動を知ることが、あなたを責めるためではありません。何を意識すれば楽になるか、どこで自分の力を取り戻せるかを教えてください。

2 本命星と月命星の使い分け

HONMEI

本命星 - 人生の幹

この世で果たすべき使命、社会で出やすい表の力です。十歳を過ぎる頃から、本命星の力が人生の中心として表に出やすくなります。

GETSUMEI

月命星 - 命の根

肉体、幼少期のインナーチャイルド、安心感に関わる内側の感覚です。十歳未満は月命が中心ですが、月命は生涯にわたり健康と最大吉方に関わります。

幹と根を一緒に見る

幹（本命）だけ見ても木の全体は見えません。十歳未満は月命が中心、十歳以上は本命が中心。ただし月命は生涯、内側の安心感・健康・最大吉方に関わります。

KYUSEI V2 SCREEN IMAGE

6

六白金星

Royal Sky / 気高き天

本命星

六白金星

魂の設計図

月命星

一白水星

内なる深淵

傾斜

一白水星

才能の方向

同会

二黒土星

社会との響き

3 裏性格 - 占い本に載らない生々しい顔

各星には、表からは見えない生々しい癖があります。KITOKUはそれを否定せず、北風の言葉ではなく、太陽の言葉に翻訳します。

北風の言葉

六白金星：頑固・プライドが高い

高く、正しく、完璧であろうとする力が、周りには硬さとして見えることがあります。

KITOKUの見方

天高く輝く太陽

高い志は魂の使命。ただし太陽は皆を照らすために輝きます。人の話を最後まで聞くと、器が広がります。

北風の言葉

五黄土星：最凶・帝王だから孤独

影響力が大きい分、思いやりを失うと場を支配してしまうことがあります。

KITOKUの見方

大地の帝王

腐ったものを再生させる力。謙虚さの器に入った時、強い影響力は深い慈愛に変わります。

北風の言葉

七赤金星：口が悪い・遊んでばかり

場を明るくする言葉が、疲れている時には批判や愚痴として出ることがあります。

KITOKUの見方

喜びの実り

人を笑わせ、場を和ませる天才。批判を感謝の言葉に変えると、魅力が大きく育ちます。

欠点ではなく、向きを変える力

裏性格は欠点ではありません。使い方を誤ると出るクセであり、向きを変えれば最大の魅力になります。

4 まとめ / 次に見るもの

1 星の本質と落とし穴を知る

自分の星の強みだけでなく、運勢を落としやすい行動も確認しました。

2 本命と月命の役割を分ける

本命は人生の幹、月命は命の根。どちらか一方だけでは、自分の全体像は見えません。

3 裏性格を魅力に変える

生々しい癖は、向きを変えればその人の強い魅力になります。

次に見るもの：BASIC 03 隠れた才能と人生の舞台

次は、傾斜（潜在能力）・同会（環境）・最大吉方（第3の星）へ進みます。星の構造を立体的に見ることで、自分の内側と社会での役割がつながっていきます。

Y理論の締め

星は「こう生きなさい」という命令ではありません。自分の傾向を知り、長所を活かし、自分で選ぶための地図です。答えを外に預けず、自分で理解し、自分で決めるために使ってください。